

# 第19回高専シンポジウム in 久留米 参加報告

技術第二班 一条洋和

## 1. はじめに

平成26年1月25日に行われた、「第19回高専シンポジウム in 久留米」に参加し、発表及び聴講を行った。発表件数は、口頭306件、ポスター189件であった。

## 2. 日程

9:00-9:50 K会場（化学）にて聴講  
10:00-10:50 C会場（工学教育等）にて発表・聴講  
11:00-12:00 ポスターセッション  
13:00-14:30 一般公開ブース見学  
14:50-15:40 A会場（電気・電子）にて聴講  
15:50-17:00 C会場（電気・電子）にて聴講

## 3. 各日程の詳細

### ● 口頭発表

「CNCフライスを用いた教材用平面導波路の製作におけるエンドミルの影響」という題目で発表を行った。発表7分・質疑2分となっており、内容についてかなり簡略化する必要があった。工学教育分野で発表したということもあり、質疑の内容はそれほど専門的なものとはならなかったと感じる。

発表会全体としては、多くの分野で専攻科生の発表が大部分を占めていたが、工学教育分野に関しては教職員の発表の割合が高かったように感じる。

### ● ポスターセッション

件数が多いため5会場に分かれて行われた。特に工学教育分野に的を絞って聴講した。エンジニアリングデザインや技術者倫理に関する取り組みについて聞くことができた。

### ● 一般公開ブース

からくりの展示・実演（久留米からくり振興会主催）を見学した。久留米市は、さまざまなからくり人形を発明した田中久重という人物の出身地であり、久留米駅前にもからくり時計が設置されている。このブースでは「弓曳童子」や「蒸気機関車模型」の実演が行われた。



写真 からくり人形の実演

## 4. おわりに

高専シンポジウムには初めて参加したが、規模の大きさに驚いた。受付が大変らしく、今年から地区ごとに分けて行われるようになったようだ。高専関係者が多いため、特に専攻科生が発表しやすい環境であると感じた。今後学生に情報発信できればと思う。